

# 校長室より

暗唱だより  
令和7年11月  
第三吾嬬小学校長  
川中子 登志雄



夏目漱石

開校150周年記念運動会は、雨がふったので火曜日に行いましたが、平日にもかかわらずたくさんの保護者の方にも見に来ていただくことができ、秋晴れの青空のもとみんなで楽しい思い出を作ることができました。各学年の発表も、どれも見ごたえのある、素晴らしいものでしたが、低学年・高学年リレーや全校応援団も素敵でした。そして、最後の種目「150周年記念大玉送り」では、全児童と保護者や地域の皆さん



と一緒に、お祝いの気持ちを送りました。楽しかったですね。

さて、暗唱チャレンジの方は、運動会の練習もあって疲れていたせいか、挑戦者が少なく、校長室はさみしかったです。課題にした「ある日ある時」は、秋の青空をうたった詩でしたが、10月はほとんど晴れの日がなかったせいもあるかもしれませんね。

## 11月は「坊っちゃん」



11月の暗唱課題は、明治の文豪・夏目漱石の代表作、「坊っちゃん」に挑戦です。夏目漱石が活躍した頃はまだ、書き言葉は文語体のものが多く、今読むととても難しく感じますが、漱石らは書き言葉も口語体（話し言葉）で書き始めた最初の作家で、今読んでみても皆さんにも十分わかると思います。また、漱石や芥川の文体は、読んでいて、とても調子がよく、声に出して読むのが楽しい作品が多いです。「坊っちゃん」も、声に出して読んでみると気持ちがウキウキしてきますよ。





## 11, 12月英語の暗唱課題は「きよしこのよる」

私が以前暮らしていたドイツでは、クリスマスが近づくと日がとても短くなり、暗い時間が長くなりますが、町中では家々の窓の辺りに、サンタクロースがよじ登っていたり、きれいなトナカイのイルミネーションが飾られて、楽しい気分になります。この有名な歌は、オーストリアの教会で生まれ、世界中に広まった歌です。